



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# みずほの村市場：農業を産業にする

5

研究学園都市として知られる茨城県つくば市にある「みずほの村市場」（これ以降、みずほ）には、年間 30 万人もの買い物客が押し寄せる。彼らの目当ては高品質の農産物だ。週末には駐車場に車が入りきれないくらいの盛況ぶりである。

10

- (1) 直売所は、プロの農業経営者が農産物の「品質」を競う場である
- (2) 直売所は、再生産できる価格で「商品」を販売する舞台である
- (3) 直売所は、本物を求めるお客さんと出会い、交流する場である

これがみずほの経営理念である。

みずほの代表取締役である長谷川久夫氏は、「農家に価格決定権がないのはおかしい」と日本の農業の将来を憂い、「品質の高い農産物を生産し、それを適正な価格で販売し、生産者が再生産できるようにする」という思いで設立した。現状に不満を持ちながら、未だに変わらない農家の意識を改革し、農業生産者を農業経営者にする事で農業の産業化を目指す。

15

みずほは、直売所としての成功だけでなく、「農業で食べていける」生産者を育て、農業を再生することを使命とする。これが、長谷川氏がみずほの村市場を立ち上げた原点である。

20

## 「みずほの村市場」の概要

農産物直営所「みずほの村市場」の敷地面積は約 4 千平方メートル。そのうち、農産物直売所の店舗面積は約 300 平方メートルで、花用のハウス（売り場）や事務所、研修所、160 年前の古民家を移築した蕎麦屋などが併設されている。

25

本ケースは（株式会社）農業法人みずほ 代表取締役社長 長谷川久夫氏および（一般財団法人）企業経営研究所の協力を得て慶應義塾大学ビジネス・スクールの磯辺剛彦がクラス討議の資料として作成された。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 磯辺剛彦（2014年12月作成）